



# 中止、終消滅の異相

中小企業の中国進出が本格化したのは1972年に日本と中国が国交を結んでからおよそ20年後、円高進行で海外進出熱が高まった90年代とされる。多くの企業が文化・慣習や法制度の違いに苦しみながらも現地に根を生やし、経済交流の一翼を担ってきた。日中国交正常化50周年を迎えた今、中国と縁が深い中堅・中小企業の経営トップに思いを聞いた。

かつて人件費が日本の20分の1程度だった中国へ、日本企業はござつて進出した。国内から組み立て工場がなくなると言わっていたことを覚えている。当社も進出しておよそ20年、もちろんいろんな問題があつた。政治についてでは分からぬが、中国から引きあげ

# ハイオス 戸津勝行社長

A black and white halftone photograph of a dense forest scene. The image is composed of a grid of dots, giving it a textured, printed appearance. In the foreground, there are several large, dark trees with thick trunks. Behind them, the forest extends into the distance, with more trees and what appears to be a body of water or a clearing in the background. The overall atmosphere is one of a natural, undisturbed environment.

難しい。誰も助けてくれない中で、耐え抜いて山を越えていかなければいけない。当社もここ数年、新しいネジやドライバーが現地で認められて、事業に明るい兆しが出てきた。中国企業が技術をまわすというが、日本むか

をして良いものをつく  
るのは当たり前だ。  
それ以上のものを開  
発していくのが技術競  
争だし、技術を伴わな  
ければブランドを維持  
することもできないと  
思う。中国で進んでい  
る自動化という大きな  
波に協力・貢献し、や  
り抜いて事業を成功さ  
せたい。

進出20年 技術力で成功を目指す

# 価値観の違い越え

---

30年前に磁石製造を営む父の仕事について材料を仕入れるため深圳市に出向いて以来、ほぼ毎年日本と中国を行き来している。2009年に永久磁石や応用製品を製造販売する会社を立ち上げ、満足できるマグネットを現地生産するため、工場を多く巡つた。現在は

# マグエノバー 沢渡紀子社長

A highly pixelated, black and white version of the Seal of the Commonwealth of Massachusetts. The seal features a central shield depicting an Algonquian Native American holding a bow and an arrow pointing downwards. Above the shield is a crest showing a bent arm holding a broadsword. A five-pointed star is visible in the upper left corner of the shield. Above the shield is a scroll banner with the state motto "Ense petit placidam sub libertate quietem". Above the scroll is a crest featuring a bent arm holding a broadsword. Above the crest is a five-pointed star. The entire design is enclosed in a circular border.

が厳しくなつてゐる。秋田事業所（秋田）に秋田事業所（秋田）を開設した。能代市）を開設した。能代市）を開設した。能代市）を開設した。  
え、人件費の高騰によ  
る影響も受けている。  
中国は働き手も多  
く、決断も早いことか  
スクを考慮する必要が  
ある。反日デモに巻き  
込まれたこともある。  
ミュニケーション方法  
た。最近では環境配慮  
から工場の設備規制も  
見の食い違もある。  
厳しくなつていて、隣国として互いの助け  
スク分散のため、2月  
が必要だ。手を組んで  
一緒に成長できる関係  
↑  
中国の提携フローライト  
工場

じ  
つ  
く  
り  
学  
び  
関  
係  
性  
を  
育  
も  
う

電線商社を営む当社  
が中国の無錫市に拠点  
を構えたのは2002  
年。マーケットの大き  
さと人件費の安さで中  
国が脚光を浴び、ソニ  
ーをはじめとする当社  
の顧客も工場を建設し  
たことが契機だ。

中国では商社機能に  
加えてエアコアコイル  
などの加工製造を行

富士電工 吉田 博社長

き命令が出た。加工品 さな失敗を経験に変  
の半数は当社のインド え、長い時間をかけて  
ネシアの工場で生産。 上達する。だが、急激  
もう半数は安徽省にあ な成長を求めて学ぶ時  
る協力会社に生産委託 間を短くすると大きな  
して対応した。約6カ 失敗を引き起こしかね  
月の出来事だ。現在は ない。落ち着きを持  
商社として数人で運営 ち、中国も日本も互い  
し、今後もその方針 に長い目で見て、関係  
性を育めると良いと思  
だ。

# 第二回 汽車と合弁情報入手早々

1993年6月に中國第一汽車集團との合弁会社「無錫澤根彈簧」を設立した。主に中國現地の自動車メーカー向けに、エンジン回りのバネを手がけている。

当社はそれまでに韓国や台灣のバネメーカーに技術指導をしており、その情報を聞きつ

沢根スプリング 沢根 巨樹社長

機関から合弁会社の設立の打診があつたと聞いていている。中国の自動車産業が今後、成長していくことを見据え、日本の中堅企業の高い品質力などを学びたかったのではないかと思つてている。

合弁会社は、年2回の董事会での報告を受ける程度で基本的には